

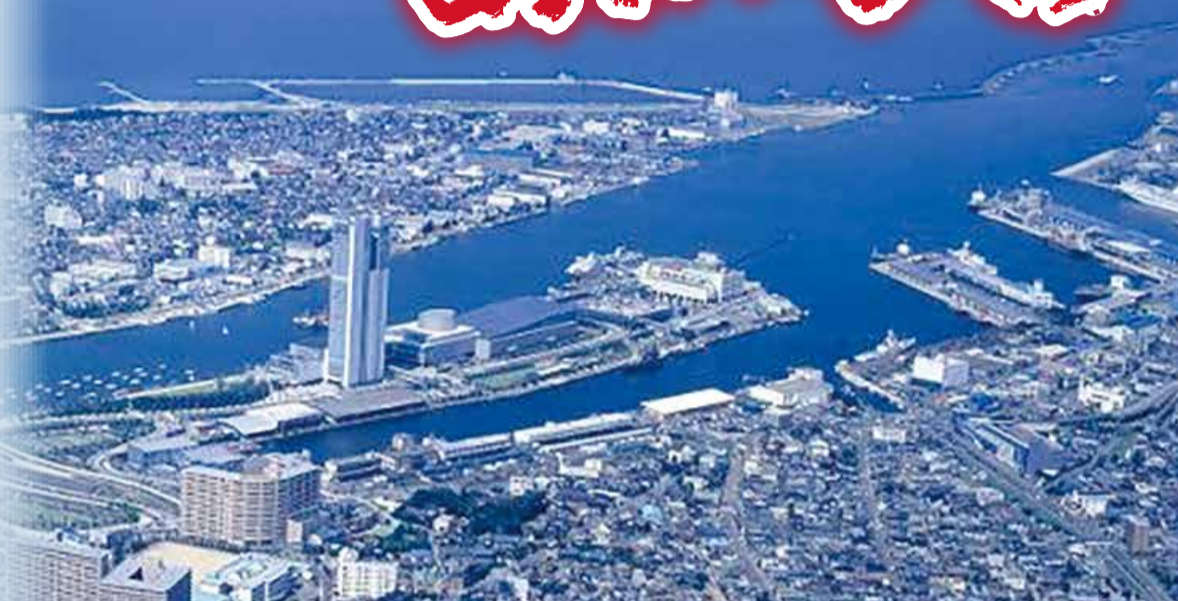
みなとまち新潟の冬の味覚

あかひげ

日本一の大河・信濃川の河口に広がる新潟西港。万代島地区に位置する漁港では、年間を通じてさまざまな新鮮な魚たちが水揚げされ、その種類は約140種類とされています。

特に寒さが厳しい冬には、ズワイガニや南蛮エビ、脂の乗ったのどぐろなど、おいしい新潟の海の恵みを買って求めに地元の魚市場はにぎわいを見せています。

今号では、冬の新潟ならではの海の味覚として長年愛されている「あかひげ」について取り上げます。



真夜中のあかひげ漁に密着!

午前2時の新潟西港。あかひげ漁を行う第三山栄丸が港に戻ってきました。

「今日は結構獲れたよ。でも他のもいっぱい入ったね」と船長の五十嵐新二さんは、手に持った網を手際よくほどき、タライに移します。



▲選別



▲温度管理

中をのぞくと太刀魚や鯛、ヒイラギと呼ばれる小魚などと一緒小さな薄ピンク色のエビがびっしり。「この魚たちにくっついてるのが、あかひげ。この後選別作業に入るよ」と、休む間も無く次の準備にかかります。鮮度が命のあかひげ。選別作業中は常に温度を10度以下に保つことが重要だと話します。

一連の作業を全て1人で行う五十嵐さんは、「あかひげ漁は手間がかかるし、その日によって漁獲量も全然違う。漁も真夜中に行うから家族の理解も必要。やっぱり漁が好きじゃないと続けられないね」と、はにかんだ笑顔で話しました。

この日の出荷は10kg。市場で最初のセリにかけられます。

市場から食卓へ

この日セリ落としたのは、本町通11番町にある鮮魚店の櫻田鮮魚=写真右=。

店主は「あかひげは市場に出でない時もあり、なかなか手に入りません。この時期になると心待ちにしているお客さんも多いので、新鮮なうちにぜひ皆さんに味わってもらいたいです」と話します。

お店には、入荷を聞きつけた地元のお客さんが次々に訪れていました。どんな料理に使うのか尋ねると、「今日は天ぷらにしようと思います。あとは大根と一緒に煮物にしようかな」と購入したあかひげを大事そうに抱え、お店を後にしていました。



「あかひげ」とは? 知ってる?!

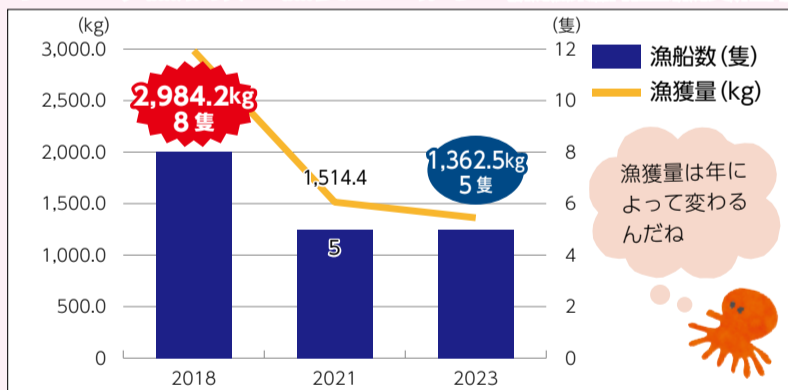
あかひげはサクラエビの仲間で、標準和名はアキアミ。県内では信濃川と阿賀野川河口のみで獲られ、漁獲時期は、11月～3月ごろです。

現在、新潟西港においてあかひげ漁を行っているのはわずか数隻。漁獲量も減少し、そのおいしさを知る人も年々減ってきています。



殻が薄く、くせのない上品なエビの風味が特徴。

あかひげ漁船数と漁獲量の推移 (新潟漁業協同組合新潟支所管内)



今やなかなか手に入りにくい「あかひげ」。本町市場などでは、新鮮なあかひげを塩辛にして販売していることもありますので、見かけた際は、新潟の伝統の味をぜひ味わってみてはいかがでしょうか。



あかひげの塩辛▶



旬の味覚を味わう あかひげレシピ公開中



新潟魚食普及の会ではあかひげレシピなどをホームページ=右の二次元コード=で公開しています。

◀冷めても美味しい!! あかひげと大根のみぞれ煮



2/10にいがた冬 食の陣・当日座 開催します

にいがたの冬のグルメが味わえる一大イベント「にいがた冬食の陣・当日座」が2月10日(土)から開催されます。


イベントに参加する「本町 鈴木鮮魚」の鈴木正さん=写真左=は、「出店を心待ちにしている馴染みのお客さんや県外から来るお客さんに、手頃でおいしい地元の魚を届けたいという思いで参加します。普段は提供していない料理を用意していますので、ぜひ食べに来てください。イベントで多くの人に新潟の食の魅力を知ってもらい、本町に足を運んでもらえたら嬉しいです」と話しました。

ほかには、にいがた和牛をテーマにした特別メニューを提供するブースもあります。この機会にお越しください。

2月10日(土)～12日(月・振休)午前11時～午後6時 ※12日は5時まで。売り切れ次第終了


場 古町7番町モール・古町ルフル広場・新潟ふるさと村(西区)

図 にいがた食の陣実行委員会((株)オフィスワン内、☎286-9112)



▲イベントで提供する予定のあんこう汁

イベント用特設ページはこちら



本誌掲載のイベントは1月29日時点のものです。

公民館・図書館

中央公民館 ☎224-2088
〒951-8055 中央区礎町通3-2086
受付時間 平日午前9時～午後5時
(土・日曜、祝日除く)


■クロスパルにいがたと地域のかかわりについて～礎小学校閉校の経緯から見えてきたもの

日 3月3日(日)午前10時～11時30分
内 礎地域の人の流れや暮らしの様子の変化を語り合う
人 先着30人
申 2月7日(水)から電話で同館へ

東地区公民館 ☎241-4119
〒950-0083 中央区蒲原町7-1

■東地区公民館 サークル見学・体験会

音楽・美術・工芸・語学・スポーツ・ダンスなどの同館活動サークルの見学と体験会を行います。日時・申し込み方法など詳細は右の二次元コードから確認してください。



■街角で見つけた沼垂周辺の歴史～碑、モニュメントを訪ねて

日 3月7日(木)午後1時30分～3時30分
内 街に点在する記念碑、モニュメントから見える歴史や郷土の特色を学ぶ
人 先着30人 申 あす5日(月)から電話で同館へ

鳥屋野地区公民館 ☎285-2371
〒950-0972 中央区新和3-3-1

■子育てサロン「ふらっと」

日 2月26日(月)午前10時～11時30分
※出入り自由
内 自由遊び、情報交換
人 未就園児と保護者10組程度


■とやのMOVIE

日 2月28日(水)午後1時30分～3時45分
内 上映作品「マダム・イン・ニューヨーク」(2012年 インド映画)
人 先着50人 持 飲み物

図書館

■おはなしのじかん

内 絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、職員による「絵本なんでも相談タイム」など
・詳しい日時はホームページ=右の二次元コード=から確認してください。
・下記の日程で、赤ちゃんが気兼ねなく過ごせる「赤ちゃんタイム」を開催します。



会場・問い合わせ	赤ちゃんタイム日時
ほんぽーと中央図書館 (☎246-7700)	毎週火・木曜日 10:00～13:00
鳥屋野図書館 (☎285-2372)	毎週金曜日 10:00～12:00
生涯学習センター図書館 (☎224-2120)	毎週金曜日 10:00～13:00

健康・福祉

■子どもの健康診査

・案内と問診票は、対象者に郵送します。
・時間や持ち物などは案内でご確認ください。
◎フッ化物塗布あり(希望者のみ) 料 ¥1,020円
図 健康福祉課健康増進係(☎223-7237)

■股関節検診・母体保護相談


超音波検査料 料 ¥2,800円

■1歳誕生歯科健康診査◎

※子育てを応援しようと、「ブックスタート」を健診終了後に実施。絵本をプレゼントします。

■1歳6カ月児健康診査◎

3歳6カ月ごろの子どもの対象



■フレイルチェック

内 握力・筋肉量などの計測、日常生活を見直すための助言
人 65歳以上の人
持 飲み物
申 あす5日(月)から各開催日の1週間前までに電話で新潟リハビリテーション病院(☎368-7400)へ
申込受付時間 平日午前9時～午後5時

時間 午後1時30分～3時30分
※受け付けは1時から1時20分

期日	会場	定員(先着)
2/21(水)	東地域保健福祉センター	20人
3/6(水)	市陸上競技場	20人

お知らせ

市役所、区役所、関係機関からの情報を掲載します。

■栗ノ木川の生い立ち

日 2月4日(日)午後2時～4時
※受け付けは1時30分から
場 東区プラザ(東区下木戸1)
内 栗ノ木川の生い立ちについての講演会


図 通船川栗ノ木川沿川まちづくりの会・山岸(☎090-1856-4294)

■高齢者向けスマートフォン講座(全3回)

日 2月20日(火)～22日(木)①午前9時30分②午後1時30分 ※3日間連続講座、各回3時間
場 中央公民館 人 12人 ※抽選
申 あす5日(月)に電話でNPOにいがた(☎285-7022)へ


■中央区地域福祉推進フォーラム

日 3月2日(土)午後1時30分～3時30分
場 新潟市民プラザ(NEXT21・6階)
内 区内の地域団体による活動を共有し、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりの発展に寄与することを目的とした研修会
人 先着250人(オンライン90人)
申 2月22日(木)までに右の二次元コードを読み取り申し込み
図 中央区社会福祉協議会(☎210-8720)



■南出張所の古紙回収拠点を終了します

古紙回収量の減少のため、土曜日の午前9時～正午に実施している南出張所の拠点回収を令和6年3月末で終了します。今後は各自自治会・町内会などで実施する古紙回収(集団資源回収)を利用していただくか、ごみ集積場の「古紙類」の日に出してください。
図 廃棄物対策課(☎226-1407)



ふれあい掲示板

市民グループや地域のイベントなどの情報を掲載します。※敬称略


■福祉のしごと就職フェアin新潟

日 2月17日(土)午後0時20分～3時30分
内 法人・事業所による事業説明や面談、相談
場 新潟ユニゾンプラザ(上所2)
人 学生を含む福祉職場への就職希望者
図 県社会福祉協議会福祉人材課(☎281-5523)

【訂正】本誌1月21日号2面「おかしいと思ったら消費生活センターへ相談してください」に誤りがありました。お詫びして訂正します。同センターの電話番号は、正しくは「☎228-8100」でした。

火災の少ない1年にしましょう!

令和5年の中央区の火災件数は22件で、前年と比較すると2件減少しました。主な出火原因は、「電気関係」が最も多く7件で、次いで「たばこ」が4件となりました。



火災予防のポイント

- ・コンセント周りにほこりをためない!
- ・電気コードは家具などの下敷きしない!
- ・寝たばこはしない!
- ・灰皿には水を入れる!

図 中央消防署市民安全課予防調査係(☎288-3119)

	R3	R4	R5
件数	26	24	22

順位	原因	件数
1位	電気関係	7件
2位	たばこ	4件

中央区
自治協議会だより

中央区役所

発行:新潟市中央区 自治協議会だより編集部 電話:223-7023(地域課内)

第32号
令和6年2月4日発行

学生委員にインタビュー!

住みよいまちづくりのために、地域と市・区役所をつなぎ、地域の課題解決に取り組む自治協議会。区では、将来を担う若い世代の多様な意見をまちづくりに反映させるため、2人の学生が同協議会委員として活動しています。



新潟青陵大学3年
高見 紗羽委員



大原簿記公務員専門学校
新潟校2年
田中 晴菜委員

なぜ自治協議会委員に?

高見委員: もともと地域活動に興味があり、将来も地域活性化に関係する仕事に就きたいと考えていたところ、自治協議会委員の経験がある大学の先生が紹介してくれました。

田中委員: 住んでいる区のまちづくりの取り組みを知り、若者の立場から貢献したいと思ったことがきっかけです。

専門部会では何をしているの?

高見委員: 福祉・防災などを所管する第2部会に所属しています。震災を経験し、見えてきた地域課題を踏まえて現在部会では防災について取り組んでいます。大学では防災は専門外のため、学びながら参加しています。

田中委員: 賑わい創出などを所管する第1部会に所属しています。第1部会では、本町・古町の魅力発信のための取り組みを考えているところです。

活動してみでの感想は?

高見委員: 自分より年上の方が多くて最初は驚きました。自治会長をしている委員の方のお話から地域課題に気付くこともあり、とても勉強になります。

田中委員: さまざまな立場からの意見や考え方があって、一概に「良いまちにする」といっても、多方面から考える必要があると感じました。まちづくりに熱心な方がとても多くて、自分も頑張ろうという気持ちになります。

学業との両立は?

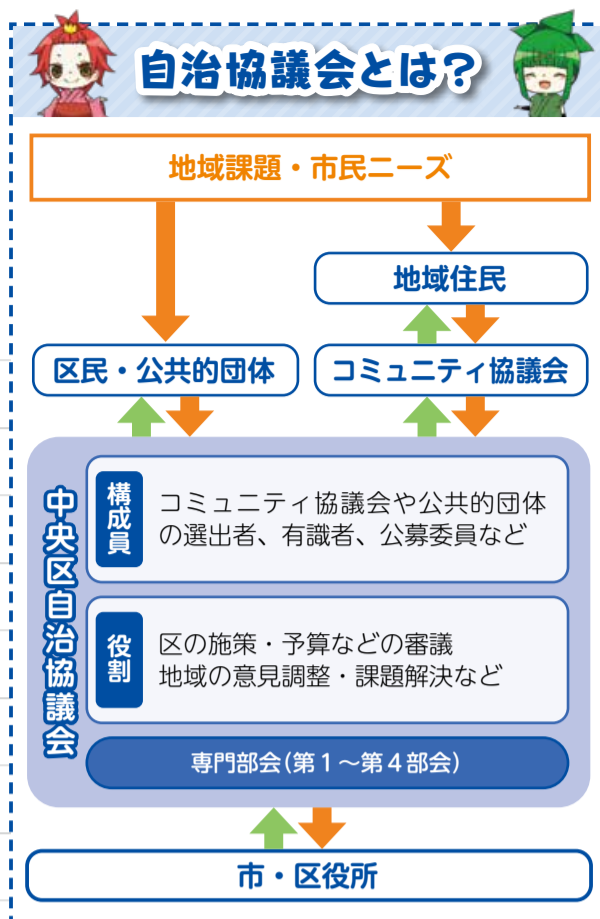
高見委員: 自治協議会は平日開催のため、大学の授業とかぶることもありますが、欠席した場合でも資料や会議概要をメールで送ってもらえるので、次の会に参加しやすいです。

田中委員: 自治協議会に参加してから、市の取り組みや時事問題に関心を持つようになりました。友人にも意見を聞いて地域課題について考えをまとめることもあります。学校に通いながら、隙間時間を使って自治協議会の活動ができています。

未来の学生委員に向けてメッセージを!

高見委員: 地域活動に興味があることを日ごろから口にしていたことがきっかけで、自治協議会と出会うことができました。興味や関心、やりたいことを自ら発信していくことが、さまざまなチャンスをつかむ近道だと思います!

田中委員: 若い人たちが積極的に自治協議会で意見を言ったり、地域活動に参加したりすることで、地域全体でより良いまちづくりができると思います!



身近な地域課題 役員のみ手不足について

地域活動への参加…きっかけは?

自治協議会では、委員自ら討議テーマを提案し、意見交換・情報共有を行っています。8月に開催した全体会議の様子の一部を紹介します。

自治会やコミュニティ協議会などの役員のみ手不足に困っています。役員としても活動している皆さんは、どんなきっかけがあって地域活動に参加することになったのでしょうか。(上之山 剛委員)

見知らぬ土地に引っ越して不安でいたところ、当時の町内会長に勧められて防災活動に参加。その後、コミュニティ協議会に加わり、町内の良いところを話し合ったり、みんなで被災地を訪問したりと、人とのつながりが広がりました。(豊島 裕美子委員)

働きながらも地域活動に参加できる環境づくりが必要。私自身は、退職後に地域活動に参加するようになり、地域の方とのつながりが増えました。現役時代の経験を活かし、退職後の活躍の場になるといいですね。(樋口 悦雄委員)

「頼まれたことは、ハイカイエスで答える!」をモットーに、自治会長を引き受けました。ただ、現役世代の方の多くは、地域活動に頻繁に参加することはなかなか難しいようです。(野澤 修委員)

バックナンバー

過去の中央区自治協だよりは
こちらから

自治会役員などのみ手不足を解消するための具体的な取り組みについては、次号で紹介予定です。お楽しみに!

《広告欄》

Three large empty rectangular boxes for advertisements.